取扱説明書

小型光ビデオリンク

FFL－V1102L－VTS／FFL－V1102L－VRS

※この取扱説明書をよく読んで、正しくお使い下さい。
・本書は、お読みになった後も大切に保管して下さい。

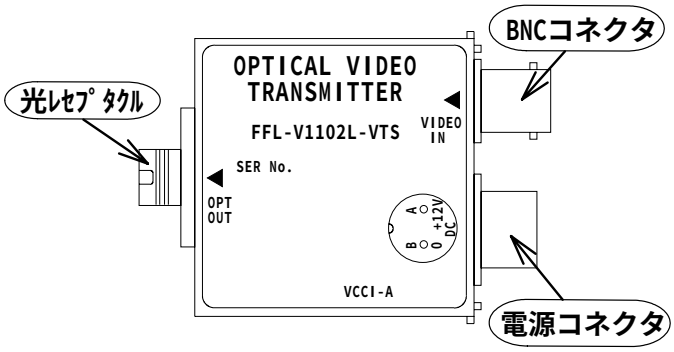
株式会社フジクラ

構 成

［以下のどちらかのﾕﾆｯﾄが梱包されていますので、開封時に必ずご確認下さい］

○FFL-V1102L-VTS（送信ユニット）

・本体(約 60g)

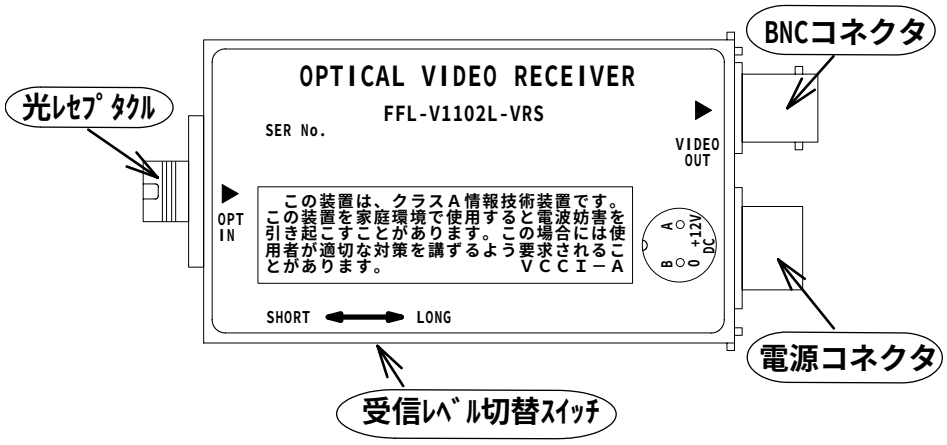


（添付品）・取扱説明書

・電源ｺﾈｸﾀ（PRC05-P2F）

○FFL-V1102L-VRS（受信ユニット）

・本体(約 90g)



（添付品）・取扱説明書

・電源ｺﾈｸﾀ（PRC05-P2F）

動作条件

○動作電圧　DC+12V±5%以内

○動作温度　-10～50℃（保存温度　-20～70℃）

○動作湿度　RH 20～90%（保存湿度　RH 10～90%）

※結露する環境では動作および保存しないで下さい

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI-A

安全上のご注意

このたびは、フジクラ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
・ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

絵表示について

この取扱説明書及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、人体への危害や財産の損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷する危険が想定される内容及び物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。
（左記の例は破裂注意）

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。
（左記の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。
（左記の例は電源プラグをコンセントから抜く）

《Ⅰ．設置、据え付け上の注意事項》

⚠警告

■湯気、ほこりの多いところで使用しない

ほこりの多い場所や湯気の当たる場所で使用しないで下さい。
故障、感電や火災の原因になります。

■正しい配線材料で結線する

電源や信号の配線は定格電圧、定格電流、絶縁耐圧など適切な配線材料を用いて下さい。
誤ったものを使用すると火災、感電の原因になります。

■正しい電源電圧で使用する

本製品に供給する電源電圧が仕様範囲内であることを確認して下さい。
仕様範囲外の電圧を供給した場合、本製品が破損し火災、感電の原因となります。

■油、可燃ガスが漏れる場所で使用しない

油、可燃ガスが漏れるおそれがある場所で使用しないで下さい。
本製品の周囲に溜まると故障や火災の原因になります。

■高温になるところで使用しない

直射日光の当たるところや、発熱機器のそばなど、温度の高いところで使用しないで下さい。
故障や火災の原因になります。

⚠注意

■高温、高湿の場所に保管しない

高温、高湿の場所に保管しないで下さい。
故障の原因となります。

■水がかかりやすいところで使用しない

水がかかりやすいところで使用しないで下さい。
火災、感電の原因となります。

■不安定な場所で使用しない

不安定な場所で使用しないで下さい。バランスが崩れて落下すると、けがの原因になります。

《Ⅱ. 使用上の注意事項》

⚠警告

■異常状態が発生したら運転を停止する

万一、発熱、発煙、異臭、異常音などの異常に気付いた場合は、そのまま使用すると火災, 感電の原因となります。直ちに供給電源を切り運転を中止して下さい。

■破損した場合には運転を停止する

万一、本製品を落としたり破損した場合は、直ちに供給電源を切り運転を中止して下さい。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■水がかかった時は運転を停止する

万一、水がかかった場合は直ちに供給電源を切り運転を中止して下さい。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■分解、改造をしない

本製品を分解したり改造したりしないで下さい。
火災、感電の原因となります。

⚠注意

■長期間使用しない時の注意

長期間使用しない場合は、供給電源を切っておくことをお薦めします。

■上に物を置いたり力を加えたりしない

上に物を置いたり、力を加えたりしないで下さい。
故障、火災、感電の原因になります。

《Ⅲ. 修理時の注意事項》

⚠注意

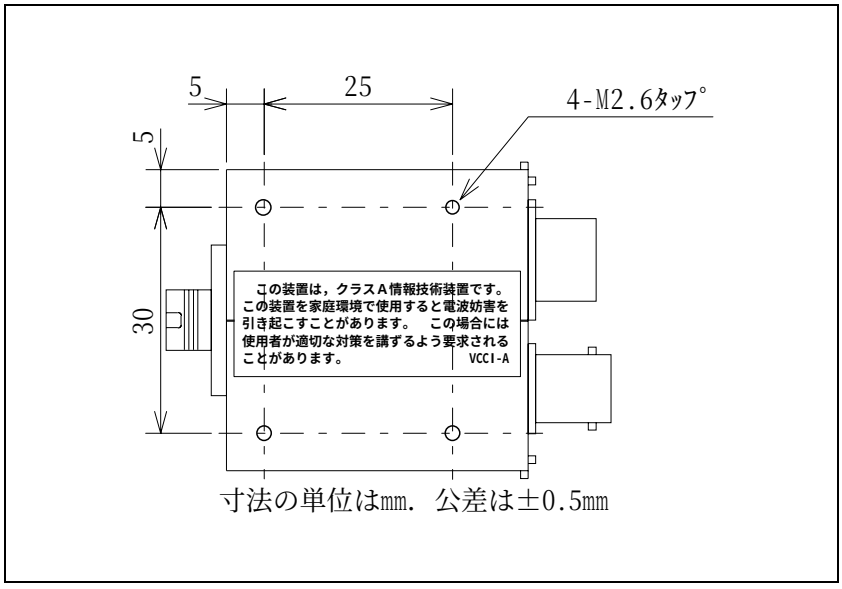
■修理はメーカーに御依頼下さい

誤った修理は火災、感電の原因となります。
必ずメーカーに御依頼願います。

固定方法

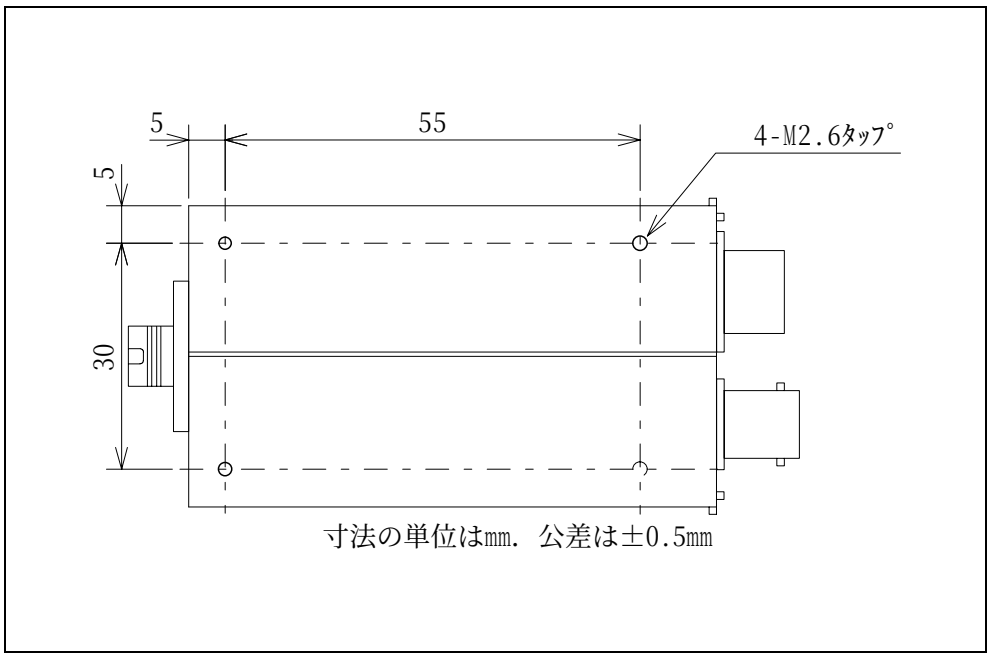
本ﾘﾝｸを固定する場合は、4 ヶ所の取付用ﾈｼﾞ穴（M2.6）を使用してﾈｼﾞ止めして下さい。
ただし、ﾈｼﾞ止めする場合はﾘﾝｸ内部のﾈｼﾞ長を 2.3mm～5mm の範囲として下さい。

○FFL-V1102L-VTS（送信ユニット）の取付穴位置



寸法の単位はmm．公差は±0.5mm

○FFL-V1102L-VRS（受信ユニット）の取付穴位置



寸法の単位はmm．公差は±0.5mm

操作方法（受信ユニット）：　－受光ﾚﾍﾞﾙ切り替えｽｲｯﾁの設定－

受信ユニットは規定された受光ﾚﾍﾞﾙ範囲では映像信号に対して AGC 機能が働きます。ただし、受光ﾚﾍﾞﾙに応じて受信ユニットの受光ﾚﾍﾞﾙ切替ｽｲｯﾁを「SHORT」または「LONG」に切替える必要があります。

表　受光ﾚﾍﾞﾙと受光ﾚﾍﾞﾙ切替ｽｲｯﾁの対応

受光ﾚﾍﾞﾙ（WHITE100%信号入力時）	受光ﾚﾍﾞﾙ切替ｽｲｯﾁの選択
-15dBm～-22dBm	「ＳＨＯＲＴ」
-20dBm～-28dBm	「ＬＯＮＧ」

※出荷時は「ＳＨＯＲＴ」に設定されています。

光ﾊﾟﾜｰﾒｰﾀ（測定器）がない場合は、目安として伝送距離が 0～2km のときは受光ﾚﾍﾞﾙ切替ｽｲｯﾁを「SHORT」側に、1.5km～2.5km のときは「LONG」側に設定して下さい（光ﾌｧｲﾊﾞの伝送損失を 3dB/km と想定しています）。

⚠注意

(1) 受光ﾚﾍﾞﾙ切替ｽｲｯﾁの設定が不適切な場合は、映像出力の波形が歪んだり、ﾚﾍﾞﾙが小さくなったりしますのでご注意下さい。

(2) 受光ﾚﾍﾞﾙ切替ｽｲｯﾁを切り替えるときは、小さいﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞ等の工具を使用してｽｲｯﾁをｽﾗｲﾄﾞさせて下さい。

電気系･光系の接続方法

① 映像信号の接続

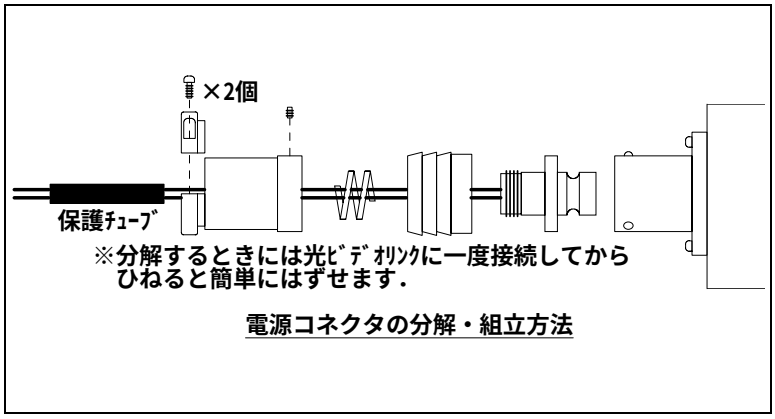
映像信号の接続はBNCｺﾈｸﾀを使用して下さい。接続ｺｰﾄﾞは特性ｲﾝﾋﾟｰﾀﾞﾝｽが75Ωの同軸ｺｰﾄﾞを使用することを推奨します（本製品の入力/出力ｲﾝﾋﾟｰﾀﾞﾝｽは75Ωです）。

⚠注意

（1）DCﾊﾞｲｱｽ電圧が重畳した映像信号を送信ユニｯﾄに入力する場合は、DC-0.5V以下もしくは、DC+3V以上の電圧を入力しないで下さい。この範囲を越える電圧を入力した場合は故障の原因となりますのでご注意下さい。

② 電源の供給

送信ユニｯﾄ，受信ユニｯﾄともに付属の電源ｺﾈｸﾀを使用してDC+12Vを供給して下さい。



電源コネクタの分解・組立方法

※付属の電源ｺﾈｸﾀを分解するときにはﾌﾟﾗｽとﾏｲﾅｽの精密ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰが必要です．

※ﾘｰﾄﾞ線を半田付けする際に端子を熱し過ぎると、ｺﾈｸﾀの樹脂が変形して接続できなくなることがありますのでご注意下さい．

電源ｺﾈｸﾀの端子にﾘｰﾄﾞ線を半田付けし、端子Aに+12V、端子Bに0Vを供給して下さい。
電源ｽｲｯﾁは有りませんので、電源を供給すると使用可能になります。

⚠注意

(1) 電源電圧の絶対最大定格はDC+15Vです。これ以上の電圧を印加した場合は故障の原因となりますのでご注意下さい。

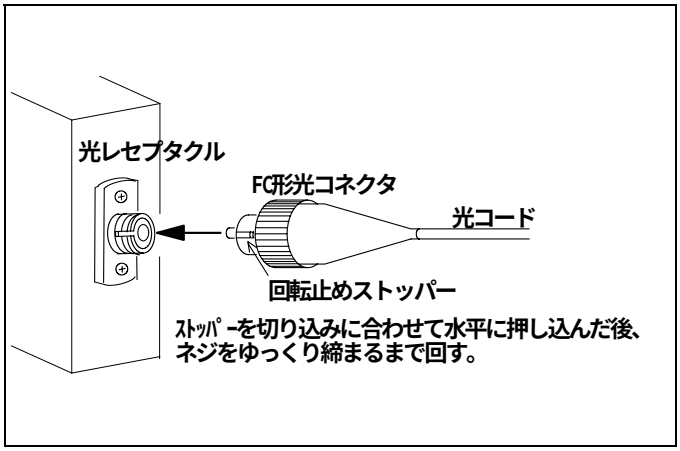
(2) 逆電圧を印加した場合も故障の原因となりますので極性にご注意下さい。

(3) 電源はﾘﾌﾟﾙﾉｲｽﾞやｽﾊﾟｲｸﾉｲｽﾞの小さいものをご使用下さい。

(4) 電源の電流容量は、送信部用は80mA以上、受信部用は130mA以上として下さい。

③ 光信号の接続

光信号の接続はFC形光ｺﾈｸﾀﾌﾟﾗｸﾞを使用して下さい。また、GI･50/125の光ﾌｧｲﾊﾞｺｰﾄﾞを使用して下さい。



⚠注意

(1) 光ｺﾈｸﾀの着脱の際にはﾌﾟﾗｸﾞの先端にｺﾞﾐや傷がつかないように、またﾚｾﾌﾟﾀｸﾙ内にもｺﾞﾐが入らないように気をつけて下さい。

(2) 使用せずに長い間光ｺﾈｸﾀを外しておくときには、必ずｷｬｯﾌﾟを付けて下さい。

(3) 光ｺﾈｸﾀﾌﾟﾗｸﾞにｺﾞﾐが付いたときは、ｱﾙｺｰﾙを浸した清浄なｶﾞｰｾﾞやｹﾊﾞだたない柔らかい紙で端面を軽く拭き取って下さい。

(4) 光ﾌｧｲﾊﾞに過度な曲げが加わると伝送損失が増加し、また破断の原因ともなりますので光ﾌｧｲﾊﾞを固定するときは直径 100mm以上の曲げ径を確保して下さい。また強く締め付けて固定することは避けて下さい。

技術的なお問合せは下記の部門にお願いします。

光システム事業部　光システム技術部
〒135-8512 東京都江東区木場 1-5-1
TEL （03）5606－1202
FAX （03）5606－1536
E-mail；optsys@fujikura.co.jp
URL；http://www.fujikura.co.jp
受付時間；9:00～17:00（但し、土・日・祝日除く）

修理･サービスに関するお問合せは下記の部門にお願いします。

株式会社フジクラ　リペアセンター
〒360-8515 埼玉県熊谷市箱田 4-10
TEL （048）522－7415
FAX （048）522－7405

受付時間；9:00～17:30（但し、土・日・祝日除く）

※本製品の修理は原則として当社に引き取って行わせて頂きます。なお、修理品を発送される際には、故障状況が書かれた書類を添付し、ご購入時と同等の梱包にて返送して頂くようお願いいたします。